

びに公営住宅の家賃は所得4百万円くらいではどうなるのか。

**町長** 公営住宅6軒、特定公共賃貸住宅4軒が、6月1日現在で空いている。4百万円の所得では、特定公共賃貸住宅の入居となる。

**質問** 3階建公営住宅で、結露した水が住宅の中に入るといふ不具合がある。

**町長** ご相談いただければ、対応する。

**質問** 公営住宅のダイニング、キッチンの置き場と、レンジ、冷蔵庫などがすぐ近くになつてしまい、不具合があるとの指摘がある。

**町長** 住宅環境に合った配置をお願いしたい。



齋賀 弘孝

### ・地方創生の考え方に ついて

**質問** 幌延の総合戦略は、自前で策定出来るのか。

**町長** 国や民間の支援があれば、策定可能である。

**質問** それはどのような検討、策定をすべきと思うか。

**町長** 総合戦略策定は、創生会議や町民各層の意見を集約し、町が主体となり、継続して生き残れるようにしたい。

**質問** どうまとめて行くのか。

**町長** 当初は28年3月までに策定する計画だったが、28年度予算に計上するため今年10月頃までにまとめた。一度作成したら終わりというものはなく、施策・事業の検証、改訂作業の中でその都度必要な施策を追加していくことも可能。

**質問** 地方創生先行事業のバイオマス活用可能性調査の進捗状況は。



**町長** コンサルタントと契約を締結し、アンケート調査、ヒアリング調査の実施に向けた調整を進めている。

**質問** 帯広、札幌の企業、団体が地域創生支援グループを結成したが、そのコンサル

タント会社なのか。  
**町長** まさしく、この会社である。

**質問** 周辺地域との連携はどうか。

**町長** 連携は考えていないが、今は農家の皆さん、農協に少しでも理解していただくようにしているところだ。

**質問** その予算、経費はどうしていくのか。別海町では総額23億かかっている。

**町長** 大きな集合体のバイオマス事業とは考えていない。今ある施設、今あるような状況の中のバイオマス活用、消化液が作成出来るかということを考えていく。

**質問** 問寒別地区教員住宅を普通財産化し、町民等に貸し出し出来るようになるのだろうか。

**町長** 補修すれば使用出来る住宅については、調査の上貸し出ししたい。

**質問** 実施はいつくらいを目途にしているのか。

**町長** 住宅が足りないというのは常々考えているが、年数が古い教員住宅なので若い人達を入れるため、水回り、水洗化などを考えて整備をかけ

ていくと、秋、雪の降りかけになる。

**質問** もっと早くしなければいけない。他の空き家も修繕費用全額ではなく、ちよつと暮らしのために地域の人達の支援をもらって、修繕費用を行政が支援することも考えていくことは可能か。

**町長** 今そういったことの担当をどうするかとか、協議しているところ。総合的に、どういう形で促進すれば町として有効なのか、財政的にも適切なのかも含めて、考えて行く。

